

二つの海を持つ町、八雲町 誕生10年を祝して

開町10年記念式典開催

10月1日、新八雲町開町10年記念式典がシルバープラザにて開催され約170人が出席しました。式典では、合併に尽力された旧八雲町長の故山内尊洲氏、初代町長として町政の陣頭指揮を執られた故川代義夫氏など町に貢献された物故者に対する黙祷、岩村町長の式辞や能登谷議長の後援、旧八雲町と縁の深い尾張徳川家第22代当主徳川義崇氏ほか多くの来賓から祝辞を頂戴しました。また、町の振興発展に貢献された7団体23名が表彰されました。アトラクションでは、八雲町PR映像の放映や太鼓の演奏が披露され式典を盛り上げました。岩村町長は「当時、気

候・風土・歴史も異なる2町が新たな町として一つになることは大きな決断であり、「新しい町の将来はどうあるべきか」この10年間各産業界や団体等が考え、力添え頂き共に歩んできました。今後少子高齢化、人口減少社会への対応、産業振興、雇用確保等大変厳しい状況ですが、北海道新幹線の開通等転換期でもあるので、町民が一丸となり英知を結集し果敢に取り組み、道と一緒に開いていきましよう」と式辞を述べました。結びに、坂野商工会長の万歳三唱で祝い、開町10年の式典を締めくくりました。



開町10年記念事業

「出張!なんでも鑑定団 in八雲」の収録を開催!

10月4日、テレビ東京系列「出張!なんでも鑑定団in八雲」の収録がシルバープラザにて行われ、観覧者約500人が集まりました。収録では、お馴染みの松尾伴内さん、新妻さと子さんが司会をし、鑑定士の安河内真美さん、木澤雅博さん、森由美さんの3人が、町内外から選ばれた6人のお宝を鑑定しました。この日の最高額はブリキ製のおもちゃ4点80万円で、一気に会場は熱気に包まれました。唯一、八雲町から出場した岸田慶三郎さん(熊石雲石)は「90歳の元気の秘訣は、毎日3回ご飯を食べること!開町10年祝いと町が元気になってほしくて出場を決めました」と会場を盛り上げました。



第2回 八雲町「花の首飾り」まちづくりコンサートを開催しました!



9月19日、ザ・タイガースのヒット曲で八雲町の少女が作詞した「花の首飾り」が縁で実現した「花の首飾りコンサート(花の首飾りまちづくり協議会主催)」の第2回公演が、町民センターで開催されました。ザ・タイガースの瞳みのる氏、花の首飾りの作曲者であるすぎやまこういち氏が案内役となり、約300人の聴衆が東京都交響楽団のブラストッププレイヤー5名で結成される東京メトロポリタン・プラス・クインテットの演奏に酔いしれました。公演では、瞳氏が考えた八雲町のキャッチコピーの発表や、ファンの方から花の首飾りが届くなどのサプライズもあり、会場は大盛り上がりとなりました。また、前日には中高生達が、トランペットやホルンなどの各パートに分かれ、日本のトッププレイヤーであるクインテットの5人からそれぞれレッスンを受けました。

